

児童虐待防止キャンペーン



オレンジリボン運動を 知っていますか？

彩の国埼玉県

オレンジリボン運動とは、「子ども虐待防止」の象徴として「オレンジリボン」を広める市民運動です。「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知らせ、子ども虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるように、という気持ちを込めています。

埼玉県はオレンジリボン運動を応援しています



「オレンジ色のリボンをつける」ことも 虐待防止で、あなたができることの一つです。

準備するもの

リボン（5～10mm幅のオレンジに色のリボン。やや濃いめで。）・接着剤（ボンドや両面テープ）・安全ピン・はさみ

- ①10～14cmの長さにリボンを切ります。幅に対して斜めに切ってください。
- ②切ったリボンを正面から見て右側が上になるように、1回、輪にします。
- ③輪の交差するところに接着剤を付け、止めます。
- ④乾いたら、安全ピンで止めて出来上がりです。

平成16年9月に栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件が起きました。

オレンジリボン運動は、その事件をきっかけに、小山市のボランティアサークル「カンガルーOYAMA」が、子どもへの虐待防止を目指して平成17年に始めたものです。その後、支援団体が加わり、全国的な運動になっています。

オレンジは暖かさを象徴する色です。

あなたにできること

まずは自分の子育てを振りかえってみてください
子育てに悩んでいる人は、ひとりで抱えこまずに相談してください

子育てには、誰かの助けが必要です

◆次のようなことはありませんか？

- ① 泣いたときなど、子どものかかわり方がよく分からない。
- ② 子どもをかわいいと思えない。
- ③ イライラして、ひどいことを言ったり、手をあげたりしてしまう。
- ④ なんとか「よい子」にしないでほしいがちな思いがちである。

◆次のようなことを感じたことはありませんか？

- ⑤ 子育てについて、これでよいのかなどと不安が強い。
- ⑥ 子育てに向いていないと思う。
- ⑦ 眠れない、食欲がないなど体調がすぐれない。

◆子育てを助けてくれる人がいないと思っていませんか？

- ⑧ 配偶者やパートナーなど、同居する家族の応援がない。
- ⑨ 子育てについて、同居している方以外の人と話すことが少ない。
- ⑩ 子育てについて、どこに相談したら良いか分からない。
- ⑪ 一時保育など子育ての助けとなるサービスの利用の仕方が分からない。

子育てについて、誰かと話をしてみてください。
子育てに悩んでいたなら、一人で抱え込む必要はありません。

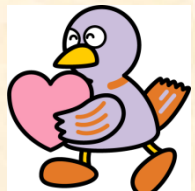
誰にでもできること

「気になる親子」に気付いた時は連絡をしてあげてください
もし可能なら、親子のサポーター(里親など)になってください

子どもについての相談は、各市町村の児童相談窓口または、児童相談所へ
(児童相談所全国共通ダイヤル)

0570(064)000

お住まいの地域の児童相談所につながります。



埼玉県のマスコット「コバトン」